

山本せいご後援会事務所 : TEL/FAX 0774-95-6288
 精華町大字南稲八妻小字門口71 : Eメール seigo722@balloon.ne.jp
 : ホームページ http://www.balloon.ne.jp/seigo722/

■平成22年12月10日～12月22日第4回定例会が開催されました。

山本議員の一般質問を通じて、議会活動報告をいたします。
 なお、委員会などのトピックスは、ホームページの「山本せいごの活動報告」でご覧になれます。

■山本せいごの一般質問（平成23年度予算にむけて、要求してきた事項について）

質問 1

町の危機管理に対する考え方と体制 および今後の方針について？



■危機管理能力向上のための職員と関係者の教育と危機管理体制は？

質問

1. 災害危機に対して
 - ・近年多発するゲリラ豪雨などや、河川氾濫などで消防本部が浸水したときの対応は？
2. 財政危機に対して
 - ・改革の成果と次の段階に進めるための具体的プログラムは？
3. 人災危機に対して
 - ・特に、収納金の横領事故が発生した。これをケーススタディーとしてどう活用したか？
 - ・和束町では同じ問題から倫理条例を策定したが、精華町はどう考えるか？

答弁

1. 災害危機に対して

- ① 町の地域防災計画により、配備体制をとり、被害状況により適宜配備をしていく。
 - ・大雨・洪水警報の際は、災害警戒本部1号配備として総務部や消防本部の職員を配備する。
 - ・地震の場合は、震度3以上・震度5弱以上で段階的に職員の配備体制をとる。
- ② ゲリラ豪雨や風水害、大規模地震などこれまで以上に専門性が求められ、専門職の配置など体制の充実強化を図っていきたい。
- ③ 消防本部が2～5mの浸水地域にあるとの指摘について、万一の場合は車両や対策本部は本庁舎・6階に移動し、町対策本部と一体となり指示、命令、出動する。

2. 財政危機に対して

- ① 平成16年頃を境に、恒常的な財源不足は単年度10億円規模に達する危機的な財政状況が生じていた。平成17年度から21年度の5ヵ年の「財政健全化計画」による改革で、8億7000万円の収支改善の見込みとなった。
- ② しかしながら、地方債の発行や債務の繰り上げ償還など、交際費の適正化対策を施しても平成21年度決算では、実質債務残高はまだ330億円を越えており財政健全化の視点から大きな課題となっている。
- ③ 債務については平成16年から21年度において、90億6900万円の債務解消をしてきた。
- ④ 職員一人ひとりが財政状況を把握し、現状認識を共有するため研修プログラムを実施している。職員の問題意識を高め各業務に反映する力を形成する研修に努めている。
- ⑤ 住民のみなさんには、財政状況を予算や決算のあらましを通じてお知らせしている。

3. 人災危機について

- ① 災害時の危機状況における判断など、防災に対する危機管理能力や危機管理意識が重要と考えている。
 特に、危機管理担当者や消防職員には、京都府開催の訓練や研修会を受研させている。担当外職員には、町実施の防災訓練が防災研修として有効と考えている。
- ② 公金の取り扱いの問題発生に対し、「綱紀粛正・服務規律の再徹底の通達」「現金扱いを控える。複数人チェック」「管理者が日々指導していく」など対処している。
- ③ 町職員の「倫理条例」の制定について検討整理していく。

議会だより (つづき)

質問 2 各事業の状況と今後の見通しは？

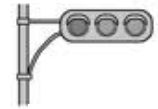
質問 (1) 河川改修と見通しについて (山川・中溝川・谷川)



答弁

- ①山川については、近鉄の東側まで完了。道路拡幅とあわせ排水路を計画していたが踏切の拡幅の鉄道業者の理解が得られないため、排水路単独で整備する方向で協議調整を進めていく。
- ②中溝川は、排水路は国保病院まで完了。病院より上流は水路整備とあわせ歩道の築造を行っている。
- ③谷川は、山手幹線横断部まで完成している。今後南稲の暗渠化を進めていく。
指摘：山手幹線脇の南稲地域で排水管が水のみみ込めず、年2～3回冠水している。
誠意をもって早期に冠水部分の改修を進めてほしいと強く要望した。
- ④公共下水道の雨水幹線の整備として、菅井雨水幹線に着手した。九百石川1号・2号についても今後調整をしながら進めていく。

質問 (2) 信号機設置について



質問(2)-1 府道・紺屋書店前の信号機 (JR列車との連動信号機の見通し)

- 答 ①今年度に踏み切り連動信号の設置と交差点の改良に向け、京都府・JRと調整している。
②交差点改良工事は、道路使用許可が下り次第工事を開始する。(今年度中完成予定)

質問(2)-2 南稲地域内の子どもの通学路の信号機の確保について

- 答 ①祝園東畑線と僧坊南稲線の交差点(南稲通学路)に「押しボタン式信号機」の設置が決まった。ただ、設置時期など詳細は明らかではありません。

質問(2)-3 山手幹線と堂ヶ島線交差部の信号機について

- 答 ①毎年木津警察署に要望しているが、既設の信号機との距離が近いことから設置に至っていない。今後、地元自治会と十分協議の上進めたい。

質問 (3) 道路関係工事について

質問(3)-1 山手幹線北進(京田辺まで)・南進(菅井・植田)の状況について

- 答 ①下狛工区(谷～自衛隊道路)は、平成24年度供用開始を目指してほぼ全線工事に着手。
②宮津・菱田工区(自衛隊道路より北)は、地元関係団体に説明、用地の立会いなど進めている。あわせて測量、設計を進めており、平成27年度供用開始に向け取り組んでいる。
③南進部の菅井・植田地域は、地権者と相談し実施可能な区域を検証し、早く実施できるよう支援していきたい。

質問(3)-2 国道163号線拡幅について、今後の進め方について

- 答 ①平成22年度2800万円の予算がつき、地元調整に必要な設計を進めている。
②拡幅事業および下水道の施設を図るため、国土交通省や関係団体に要望活動をしている。また拡幅事業が遅れても、横断歩道橋などを先行して実施できるよう要望している。

質問(3)-3 新ほうその保育所付近の歩道整備と周辺整備・特に安全柵の設置など

- 答 ①統合保育所付近および農免道路など歩道を含め、順次整備を進めている。児童保護者の安全確保を最優先に必要な安全対策を講じていく。



質問(3)-4 精華大通りの東進(北の堂までの整備)について、どう考えているか。

- 答 ①次回の都市計画マスタープラン策定時に当該道路を議論していきたい。

各事業の状況と今後の見通しは？(つづき)

質問

(4)その他の各種事業について

質(4)-1 狛田区画整理事業推進の中で、地産地消の売り場確保について

- 答 ①平成26年度末の事業完了に向け整備を進めている。
来年度には、一部宅地の整備が完了し使用収益を開始できる見込みとなっている。
- ②地産地消の売り場については、近鉄狛田駅東側の商業施設用地の計画の中で、地権者組織の商業準備会と調整を進め、売り場スペースが確保できるように努力していきたい。



質(4)-2 小学生の医療無料化の継続と中学生への拡大について

- 答 ①小学生の医療無料化(入院外)は継続するが、中学生への拡大は財源確保等から実施する予定はありません。
- ②京都府南部で中学生まで無料化は、井手町、南山城村の中学生が少ない町村のみです。小学生の無料化は、久御山町、宇治田原町、精華町(5400人)となっています。

質(4)-3 国の幼保一元化推進についてどう考えているか。

- 答 ①幼保一元化「こども園制度(仮称)」の移行には、学校教育体系と児童福祉体系の制度の総合的な検討が必要です。
施行されても10年程度の経過措置がとられるとされている。
- ②町内の保育所と幼稚園では設置・運営形態が異なり、幼保一体化実現には多くの課題の整理をしていかなければならないと考えている。



質(4)-4 相楽作業所関係事業の支援に対する予算確保について

- 答 ①相楽作業所並びに相楽福祉会への支援は、障害者支援法にそった通所サービスや入所訓練等の助成、各種町主催イベントにおける授産品の展示や販売等に取り組んでいます。今後も引き続き各種事業の確保に努めていきます。

質(4)-5 農産物に対する獣類の駆除と被害の補助対策費等について

- 答 ①農作物や住民生活に多大な影響を及ぼすと認められる場合、猟友会に協力いただき有害鳥獣捕獲班を編成し捕獲活動を行っています。
- ②今年度は、イノシシ8頭、カラス17羽、ドバト32羽、キジバト1羽を捕獲、自衛隊においてはイノシシ47頭捕獲されています。
- ③農作物の被害に対する補助制度については農業共済制度により、水稲被害のみが対象になっている。
- *再質問の中で、補助金の増額を要望した。



質(4)-6 JR祝園・近鉄新祝園駅の駅間開発の状況について

- 答 ①JR学研都市線と近鉄京都線及び東西連絡通路、町道祝園・西北線には含まれた通称「祝園駅中地区」について、権利者の方々は市街地再開発に意欲を示しておられる。
- ②町としても国の都市環境改善支援事業費の補助を受け、今年と来年の2ヵ年かけて市街地再開発事業の開始に向け支援を実施していく。
- ③今後、事業協力者を応募するための事業概略計画書の作成を予定している。